## 研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テ (	ーマ 和文) AB	居住者のライフスタイルから見る屋根緑化普及に関する研究									
研究テーマ (欧文) AZ		A study on promotion of green roof through people's lifestyle									
研 究氏 代 表名 者	<b>አ</b> ፉአታ cc	姓)サイトウ	名)ミユキ	研究期間 в	2010	~ 2011	年				
	漢字 СВ	齋藤	美幸	報告年度 YR	2012	年					
	<b>□マ</b> 字 cz	Saito	Miyuki	研究機関名	神戸女子ナ	大学大学院					
研究代表者 co 所属機関・職名		齋藤 美幸									

概要 EA (600 字~800 字程度にまとめてください。)

【研究目的】

本研究では屋上緑化した住宅の居住者を対象に日常生活や心理的な変化を中心に調査を行う。特に住宅 の中でも居住者の意志により住み方の選択を行う事のできる戸建て住宅に着目した。自然環境に配慮した 屋上緑化という視点からだけでなく、屋上緑化が暮らしに与える効果を明らかにし、屋上緑化の役割と生 活の変化について考察を行う。

【方法】

本研究は、①アンケート調査②ヒアリング調査③参与観察の3方法で行った。

①アンケート調査都道府県の屋上緑化助成制度の現状調査、戸建ての草屋根住宅の居住者への生活の実態 調査を実施した。②ヒアリング調査:屋上緑化対策に関して最も先駆的である東京都への実施、戸建ての 草屋根住宅の居住者へ生活の実態調査、草屋根の設計・施工監理者へ行った。③参与観察:草屋根普及の ための研究会「草屋根の会」へのスタッフとしての参加による記録。

【結果・考察】

以上の調査より、①草屋根住宅に暮らす事により、生活の質の向上、日常生活の中での変化がみられた。 ②草屋根を第2の庭として利用されていたことから、居住者のライフスタイルに合わせた空間づくりが可 能であることが分かった。③自治体調査の結果から屋上緑化はヒートアイランド効果に対する取り組みで あるという認識が強い事が明らかとなり、そのため、屋上緑化助成対策を行う自治体に偏りが生じる結果 となったと考えられる。

屋上緑化がもたらす暮らしの中での効果を、住み手側の実生活に結びつけ広報活動を行う事が必要であ ると考えられ、さらなるPR法の検討が必要である。また、昨年発生した東日本大震災を契機に全国的に 節電が呼びかけられ、日常生活の中での協力が必要をされている。節電対策の一環として、パッシブハウ スの一つである草屋根住宅は室内の温熱環境改善の効果だけではない、日常生活を豊かにする住宅として 明らかとなり、今後の普及が期待されると考える。

				1
キーワード FA	屋上緑化	草屋根	第2の庭	パッシブハウス

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード⊤ѧ			研究課題番号 🗛					
研究機関番号 AC			シート番号					

発表文献(この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。)										
雑誌	論文標題GB									
	著者名 GA		雑誌名 GC							
	ページ GF	~	発行年 GE					巻号 GD		
雑	論文標題GB		-							
志	著者名 GA		雑誌名 GC							
	ページ GF	~	発行年 GE					巻号 GD		
雑	論文標題GB									
志	著者名 GA		雑誌名 GC							
	ページ GF	~	発行年 GE					巻号 GD		
义	著者名 на									
当書	書名 HC									
	出版者 н₿		発行年 HD					総ページ HE		
図書	著者名 на									
	書名 HC									
	出版者 н₿		発行年 н□					総ページ не		

欧文概要 EZ

The purpose of this study is to define the role of the green roofs from an environmental point of view and from their influence over the people's life style. In this study, we observe the changes of life style in the inhabitants of the green roof houses. We investigated especially the houses which the inhabitants adopt their green roofs to their needs.

The following approaches were employed in this study:

T The questionnaire research : we studied about the subsidization scheme of each prefecture and the lifestyle of the habitants of green roof.

(2) The hearing research: we studied about Tokyo which is the most advanced in this field, and asked to the director, the architect of green roof house.

③The participating research: we participated in the conference of "Association of green roof". In conclusion, we understood :① Living in the green roof house make some good influence on the people's lifestyle. ② the flexible possibility of the green roof by using it as a second garden. ③there are the differences between prefecture in the system of subsidization scheme. We expect that it comes from the different perception of each prefecture about urban heat-island effect.

Therefore we need to promote the green roof project with giving another point of view like good influence on the lifestyle of the habitants.

Today we talk about saving electricity because of the earthquake of 2011. It's proved that the green roof is also effective for saving energy. We therefore expect that the green roof will be known by the good effect for the environmental problems.